

JR西日本とビール酒造組合共同で「適正飲酒の推進によるホーム事故防止キャンペーン」を実施します

JR西日本とビール酒造組合※は、2017年よりお酒を飲みすぎたお客様のホームからの転落や列車との接触事故防止に取り組んでいます。2024年度も過度な飲酒が原因となるホームでの事故の防止を目指します。

1. キャンペーン実施期間
2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月）
2. キャンペーンの内容
・ 注意喚起ポスター掲出
・ ホームページ（JR西日本及びビール酒造組合）へ掲載
3. ポスター掲出箇所
・ JR西日本管内の主な駅：年間を通して掲出
・ JR西日本の列車内（中吊り広告）：夏期、冬期に掲出予定
4. 訴求内容
・ お酒に酔った状態でホームの端を歩くことの危険性
・ 非常ボタンの認知度向上と、危険な場面を見かけた際に非常ボタンを押下いただく



<ポスタービジュアル>

※ビール酒造組合とは、「酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律（酒類業組合法）」に基づき1953年に設立された、ビール会社5社（アサヒビール株式会社、キリンビール株式会社、サッポロビール株式会社、サントリーホールディングス株式会社、朝日麦酒株式会社）で構成される特別認可法人です。ビール業界の健全な発展を図るための公正競争規約の適正な運用、適正飲酒の推進、20歳未満の人の飲酒防止、ビール酒税の減税要望、環境美化・省資源の推進活動等を行っています。